

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項により行う。

2. 練習について

- (1) 練習は第二陸上競技場及び競技役員の指示する場所において、競技役員の指示のもとに行う。
- (2) 投てき及び跳躍競技は、競技役員の指示によりスタジアム内で練習を行う。

3. 招集について

- (1) 招集所は、第二陸上競技場用器具庫内に設ける。
- (2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	30分前	20分前
フィールド種目	50分前	40分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻に、招集所に掲示してある出場競技者一覧表に本人または代理人がチェック（自分のナンバーを○で囲む）をする。
 - ② 競技者は招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係の確認を受ける。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類等の商標等について確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終確認は認めない。但し、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに本人または代理人が競技者係に申し出ておくこと。
 - ④ リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までに、所定のオーダー用紙に記入の上、競技者係まで2部提出すること。リレーオーダー用紙については、プログラム末尾に付けてあるものを使用すること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
 - (5) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - (6) 録画再生装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話・スマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことができない。
 - (7) 競技場所へは係員の誘導・指示により入場する。

4. 競技について

(1) トラック競技について

- ① 不正スタートは競技規則第162条により、1回で失格とする。ただし、小学生の部においては2回目に不正スタートをした競技者を失格とする。
- ② 短距離走においては、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- ③ 次ラウンドへの同タイム抽選を行う場合（100mのみ）、当該競技者または代理人がアナウンス後10分を経過しても集合しない場合は、棄権したものとみなす。
- ④ トラック競技では大型スクリーンによる「ライブリザルト」で結果発表を行う場合がある。

- ⑤ 800m以上の競走種目では、腰ナンバー標識（カード）は主催者で準備する。必ず、返却すること。

（2）リレー競技について

- ① リレー競技は同一のユニフォームを着用すること。色・デザインが統一してあれば、同一のもののみならず。
- ② レーンで行うリレー競技の競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンにチョークや類似品を使わずに、最大 50mm×400mm の粘着テープによって印を 1ヶ所付けても良い。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。
- ③ リレーチームの編成は、所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。ただし、出場するメンバーのうち少なくとも 2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
- ④ リレーオーダー用紙提出後の選手変更は原則認めない。ただしオーダー用紙提出後、負傷などの特別な理由による場合のみ選手変更を認める。その場合、医師（医務員）の診断に基づき総務の了承が必要となる。

（3）フィールド競技について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまでは下記の通りとする。

種目及び種別		練習	1	2	3	4	5	6	7	8～	
走高跳	男子	一般	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	3cm 刻み
		中学	1.50	1.55	1.60	1.65	1.65	1.70	1.78	1.81	
	女子	一般	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	
		中学	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	
棒高跳	男子	一般	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00	3.90	4.00	10cm 刻み
		中学	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	
	女子		1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	2.90	3.00	

- ② 急な天候悪化などの不測の事態が発生した場合のバーの上げ方は、フィールド審判長（跳躍）の決定による。
- ③ 棒高跳の支柱位置の申請は、ピット到着後に競技役員が受け付ける。
- ④ 高校男子においては、砲丸投 6.000kg、円盤投 1.750kg、ハンマー投 6.000kg の重量で、中学男子においては、砲丸投 5.000kg、円盤投 1.500kg の重量で競技を行う。
- ⑤ 試技に要する時間は、競技規則により 30 秒となっているので注意すること。

（4）抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則第 146 条に従って定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長（本部担当総務員に申し出る）に対して口頭で行い、指定された控室で待機する。

5. 助力について

競技者に対する助力は、競技規則第 144 条に従う。競技中、競技場内で、助力を与えたり受けたりしている競技者は、審判長によって警告され、さらに助力を繰り返すとその競技者は失格になる。フィールド競技に関しては競技役員の許可のもとスタンド席のコーチとコミュニケーションをとることができるが（競技区域内から）、競技役員の指示に従わない場合は助力を受けたとみなす。

6. 競技用器具について

競技に使用する用器具は棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

7. 表彰について

- (1) 各種目 3 位までの入賞者には、賞状を授与する。
- (2) 小学生種目の 3 位までの入賞者は、競技結果の発表後 15 分を目途に表彰式を行う。被表彰者控所(玄関ロビー)で待機し、表彰係の指示を受けること。中学生及び一般の各種目 3 位までの入賞者は、賞状を被表彰者控所へ取りにくること。
- (3) 被表彰者全員が予定時刻に集合できない場合は、表彰式を取り止める場合もある。
- (4) 今大会の優秀競技者 5 名を選出して、トロフィーを授与する。

8. 一般注意事項

- (1) 徳島陸上競技協会以外の登録者の参加についても、県内登録競技者と同等の扱いとする。
- (2) 記録は正面玄関 2 F の記録掲示場所に掲示する。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、大会本部に記録証交付願および交付料金 500 円を添えて申し込むこと。
- (4) 大会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (5) 更衣は第二陸上競技場の男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (6) 大会期間中に主催者に届けられた物品（遺失物）については、一時的に大会本部にて保管する。大会終了後はアミノバリューホールの管理事務室に問い合わせること。
- (7) 競技場は常に清潔保持に努め、ゴミ等は各自で必ず持ち帰り処分すること。
- (8) 駐車場については、県陸協HP等に掲載されている場所を使用し、近隣及び他の車両の迷惑にならないように注意すること。
- (9) 大会の映像等については、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット等によって画像や動画を配信することを含む）を禁止する。